



子供たちに豊かな体験を

校長 垣崎 晃

新学期がはじまり、1か月が過ぎました。どの学年の子供たちも、新学期になり新しい学校のリズムに戸惑いながらも、元気に活動しています。特に、1年生にとっては、とても変化の激しい1か月であったと思います。しかし、もうすっかり小学校生活に慣れてきてくれている様子で、これからが楽しみです。

さて、休み明けの月曜日、「校長先生、昨日のお休みに友達と〇〇したんだよ。」と話しかけてきてくれた子供がいました。楽しい休日であったことは容易に想像できます。

放課後や休日は子供たちが自由に活動できる時間です。しかし、さまざまな調査によると、子供たちの自由な時間の過ごし方は、「テレビゲーム、スマートフォン」「テレビやビデオを見る」が上位を占め、「外で友達と遊ぶ」ことが少ない実態が明らかになっています。

一方で、「生活体験が豊富な子供」「お手伝いをする子供」「自然体験が豊かな子供」は道徳観が充実し、正義感が強い傾向にあることも報告されています。また様々な人との交流や自然の中での活動を通じて、「他人に共感すること」「自分が大切な存在であること」「社会の一員であることなどを実感し、思いやりの心や規範意識を育てていると言われています。

では、どんな放課後や休日を過ごせばいいのでしょうか。以下のようなことに取り組んでみるのはいかがでしょうか。

- ① めあてをもち、計画を立てて生活する。
- ② 学校応援団や青少年育成大泉東地区委員会等の行事にすすんで参加する。
- ③ 自分の仕事を果たし、すすんでお手伝いをする。
- ④ 「自分の命は自分で守る」をモットーに、事故にあわないようにする。

今年のゴールデンウィークは10連休となりました。ぜひ、ご家庭でも子供と相談する機会を設けていただき、計画的で充実した10日間になることを願っています。